



新明倫

鍛英親
錬知愛

高鍋西中学校
学校だより
平成29年2月16日

卒業式に向けて

2月も半ば、暦(こよみ)のうえでは立春(りっしゅん)を過ぎましたが、厳しい寒さが続いています。しかし、各地で梅の便りが聞かれる今日この頃、寒さの中にも春の足音が近づいています。

早いもので3月16日(木)の卒業式まであと1か月になり、毎日の朝夕には西中学校のどの教室からも、合唱の大きな歌声が聞こえています。また、生徒会の取組として、1・2年生が3年生の教室に行って、「校歌」や「大地讃頌」(だいちさんしょう)などの曲と一緒に練習したりしています。

寒さの中にも心温まる光景が見られ、西中にも春の足音が聞こえています。



「第2回なわのおび賞」

2月4日の宮崎日日新聞にも掲載されましたが、石井十次顕彰会から「第2回なわのおび賞」の受賞者が発表されました。日頃の善行やスポーツ、芸術分野などで人に勇気や感動を与える行動を実践した児童生徒に光を当てるもので、石井十次先生 of 精神や生き方を生誕地・高鍋の子どもたちに継承してもらおうと昨年度に創設されました。賞の名称は、幼少期の十次が縄の帯をからかわれた少年を見かけ、自分の真新しい帯と交換した逸話に由来するものです。

今回は6人の児童生徒が選ばれ、高鍋西中学校からも3年生の細元 亮(ほそもと りょう)君が受賞することが決定しました。細元君は、本校ジュニアラグビー部の主将として県中学校体育大会での優勝、九州大会準優勝、全国大会7位の原動力になりました。持ち前のリーダーシップで県選抜チームの主将にも選出されました。また、体育大会では青団団長として団をまとめ、大会の成功に大きく貢献しました。学校生活でも文武両道に励み、その言動は本校生徒の大きな模範となっています。



「全国大会はベストの試合ができた。高校に入学したら体力づくりに励み、1年からレギュラーをとれるように全力で頑張りたい。今後も賞の名に恥じないように日々の生活を送りたい。」(細元 亮 君)

表彰式は、4月に開催される石井十次生誕記念式典・石井十次賞贈呈式の中で行われます。細元君、本当におめでとうございます。

自分でつくりました。第2回弁当の日



2月5日(日)の日曜参観の日は、今年度の第2回目の弁当の日でした。この取組は、生徒たちが自分で弁当をつくる過程を通して、食生活や健康についての関心を高めたり、家族とのコミュニケーションの機会をもちながら、家族や生産者、食材への感謝の気持ちを育むことなどを目的に、宮崎県内のほとんどの学校で行われています。

学校では弁当をつくる段階として、次の①～⑥の中から自分にできるところから取り組もうと勧められています。

- ① ご飯を弁当箱に詰める。
- ② おかずを弁当箱に詰める。
- ③ おにぎりをつくる。
- ④ おかず一品をつくる。
- ⑤ つくるおかずの数を増やす。
- ⑥ すべて自分でつくる。

ご自分のお子さんは、今回はどの段階に取り組んだでしょうか? 3月10日(金:遠足)には第3回目が実施されます。ぜひみんなが積極的に取り組み、家族とのコミュニケーションや団らんの機会にもしてほしいと思います。